

# 東京のまちづくり活動トピックス



地域生協と医療生協が、今後の連携や協働につなげていく取り組みとして、2回目となる今回も10月から実行委員会を立ち上げ、準備、検討をすすめてきました。

開催日:2022年3月14日(月)14時~16時30分  
形式:Zoomによるオンライン開催  
参加人数・生協:122名 14生協

## 基調講演 つながって共に創る豊かなくらし~“おたがいさま”の活動を原点にして~

「生協しまね」「松江保健生協」のつながりをきっかけに、諸団体が協力して「地域つながりセンター」を設立。ここを拠点とした活動や、地域の団体に呼びかけてひろげている「つながり」のつくり方についてお話いただきました。

### 「誰もが安心して住み続けられる地域づくり研究会」発足

身近な生協がつながって、自分の団体を一歩出て共通の課題を考えるためにスタート。(2008年)

高齢者1000人にアンケート実施後、諸団体や社協に呼びかけて報告学習会

JA・社協・生協が同じことを目指しながらも別々に活動している相互理解の学習と交流を開催

集まった6団体が実行委員会となって「学習」「交流」「相互理解」のために「地域ケア連携推進フォーラム」を開こう！(2011年)

顔が見えてきたところで、実行委員会を協議会に！正会員も11団体に増え、日常的に集まる拠点をつくることに！



野津 久美子さん (地域つながりセンター事務局長)

### 「団体が集まる場所」から「地域の拠点」へ (2022年度フードバンクはNPOへ)

地域つながりセンターを拠点とし、自立した5つの事業・活動がスタート

- 1.「おたがいさま」を支援するチーム
2. なないろ食堂
3. 出雲地域交流会
4. フードバンクしまね「あったか元気便」
5. (仮称)つながり応援基金

「つながり、支え合って生きる」想いをカタチに！協同と連携の力は、明日の世界を創る。共にがんばりましょう！(野津)

### 2014年 地域つながりセンター設立

休憩タイムは体操と脳トレでリフレッシュ！



東京ほくと医療生協の組合員さんが用意、協力してくれました

## 分散会

### テーマ1:つながりづくり

コミュニティづくりの実践や、アビリティクラブ助け合いと生活クラブ生協がすすめる「まちのほっとスペース構想」を協働構想として拡げています。

小寺 浩子さん/生活クラブ生協・東京

委員会で学んだ「格差と貧困問題」をきっかけに「子ども食堂」を、コロナ禍で生活に困っている学生を思ったことから、若者の米離れ解消にもなる思い「お米パントリー」を始めました。

野島 美幸さん/東京ふれあい医療生協

コロナ禍で困っている事、参加したいイベント、ワークシ種で困っている事や健診のことなどのアンケート調査を行ったあと、電話かけや戸別訪問を行い、つながりが切れない工夫をしました。

大澤 千恵子さん/城南保健生協

コロナ禍でも、一人ひとりの結びつきを大切に、くらし全般を受け止めることができる医療生協の強みを活かしたネットワークづくりをすすめていきます。

松田 美穂子さん/東京葛飾医療生協

### テーマ2:たすけあい

日常ちょっと困った時に組合員同士で助け合える“ほっとはんど”は、病気やケガの時、子どもの送迎など「ホッとする」助け合いの活動です。

佐藤けさ穂さん/東都生協

放課後学習支援ロコクラブは、学習支援・おやつを提供・子ども食堂など様々な活動を通じて、子どもの居場所になっています。

上野 やす代さん/東京ほくと医療生協

地域の困ったにこたえる「ちょこっとお助け隊」は、介護保険・公的サービスの隙間をうめる組合員の助け合い。男性メンバーが大活躍。

柳沢 浩二さん/北多摩中央医療生協

「医療生協おたがいさま」は、送迎、家事、編物、ピアノ指導、パソコンの調整など得意なことを活かした有償ボランティアの活動です。

浅見 智津子さん/三多摩医療生協

プチトマトの会は昨年で30周年、これまで障害・産前産後・子育て支援を行ってきました。コロナで活動休止、再開でその価値を実感しました。

岸田 まきえさん/コープみらい

実行委員会メンバーでもある12の生協が3つのテーマに分かれて「まちづくり」「組合員活動」の事例報告を行いました。

### テーマ3:コロナ禍における新たな活動

タブレットが貸与されたことをきっかけに、Zoomで班会を行ったり、スマホ教室を開催したり、LINEグループで交流したりするなど、オンラインでの活動が盛んになりました。

高谷 安江さん/東京保健生協

「月間スタート集会」で、死後2カ月経って発見された組合員さんのことを知り、職員と組合員さんが一緒に独居のお宅を訪問する取り組みをはじめました。ゆるやかなつながりが生まれています。

菊田 恵さん/西都保健生協

「コロナ禍でも工夫して集まりたい」という組合員さんの声に応じて初詣、花見を兼ねた「歩こう会」を開催。フットマッサージ付きの「おしゃべり会」も人気です。

片岡 照美さん/東京西部保健生協

### 【アンケートの感想より】

\*野津さんのお話しは、繋がりが繋がりをよび、どんどん広がっていく様が感動的でした。本当はとてご苦労されたのでしょうかけれど、それを感じさせないほど楽しく毎日をご過ごされているご様子に、今後のさらなる可能性を感じました。

\*どの生協さんも工夫しながら柔軟に組合員の力とニーズを上手に結びつけていて、大変参考になりました。「できるかな〜」と不安に思いながらも、まずは実行してみることで前進できるように思いました。

## 足立区まちづくり

### 生協施設を使って、食に困った学生への支援が始まりました

コープみらい・パルシステム東京・東都生協・東京ほくと医療生協・東京ふれあい医療生協

足立区まちづくりでつながりができた区内団体から、コロナ禍で困窮している学生への緊急支援への協力要請がありました。足立区協働・協創推進課や社会福祉協議会の賛同も得て、この団体に予備青果の支援を行っているパルシステム東京の施設であるパルひろば足立を使って、月1回のフードパントリーが始まりました。

